私の経験では、ほとんどの若者は家族と緊張~~する~~関係があるから、困ることを友達にうちかける。この「選ばれた家族」が「Always三丁目の夕日’64」という映画の主意だ。



この映画は2012年に作られたが、現在の社会はない価値観がある。最も目立った事は三丁目の人の家族の重要性だった。六ちゃんの場合は、菊池医師と結婚している時に、実親と結納しなかったが、代わりに養親のような鈴木さんと結納した。即ち、六ちゃんと鈴木さんの親子関係は家族の枠を解体している例だ。



私の場合は、私と~~お~~姉~~ちゃん~~との年齢差が大きく~~てお~~姉~~ちゃん~~はフィリピン出身だから、家族と私との世代的な相違は大きい。それで、六ちゃんと同じ、私は「実家族」と「選ばれた家族」もある。人生中で自分で全てを行うことはできないから両方とも有効であり、両方が必要だ。好むと好まざると関わらず全ての関係を大切にすることが重要だ。

